

ダイワコーポ「和く和くPJ」

12代目キックオフ

大卒採用 チーム目標設定

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は16日、大学新卒者採用に向けて活動する社内若手組織「和く和くプロジェクト（PJ）」の12代目

メンバーのキックオフミーティングを開催した。2027年4月に入社する大卒者の採用を目指し、会社説明会や倉庫見学会の企画・運営、社内外向けの広報などをを行う。



新たなメンバーに期待することについて語る曾根社長

区」の田代明久専門役員と曾根社長が「会社のこと・未来へのビジョン・和く和くへの想い」と話し、どんな思いでPJを立ち上げ、12代目メンバーに何を期待するかをテーマに対談した。

曾根氏は「このプロジェクトに『失敗』はない。本気で取り組み全てが大成功になる。昨年までの考え方に縛られず、自分たちの世界観でどうしたら一緒に働く仲間を見つけたことができるか考えてほしい」と話した。

また、学生が就職先を選ぶ上で重視している項目が

「社内の雰囲気良さ」であったことから、24年のプロジェクトメンバーが全社員に対して行ったアンケートで、同社の魅力として多くの社員が挙げた「社内の人間関係の良さ」を伝えるため、25年のプロジェクトテーマを「愛をもって和を進化させる」とした。

続いて、メンバーを「会社説明会」「倉庫見学」、新設された「クリエイティブ」の各チームに分け、それぞれリーダーを選出したほか、ディスカッションを経て目的・目標を設定した。

（田中寛之）

同PJは14年度に活動を始めた若手社員による部署横断の組織。学生と年齢の近い社員が会社説明会などを主体的に行うことでミスマッチを防ぐとともに、若手社員のスキルアップや部署を超えた連携につなげる。

今回の12代目メンバーは20人で、過去3年で最多。いずれも入社2、3年目の社員だ。

キックオフに当たり、長年にわたって同社の人材育成をサポートしているバフ（吉川安由社長、千代田